

講義名	ファイナンシャル・プランニング				授業形態	
担当教員	来栖 正利	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 3時限			
		単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング

主題と概要

会計学の基本事項を講義します。これら基本事項に関して専門用語の意味や基本的な考え方を計算問題の正誤を通じて正しく理解できているかどうかを確認し、復習すべき事項を的確に理解し、復習できるようにすることを目的とします。その後、類似問題または当該検定試験3級の合格できる実力を身に付けることができるように講義します。

到達目標

ビジネス会計検定試験3級の出題範囲の項目を理解できることが本講義の到達目標です。

提出課題

毎回の講義において実施するレポート課題(600文字程度)の提出状況と 期末定期試験の得点との総合評価によって最終評価を確定します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

講評等を次回の講義で行います。

評価の基準

毎回の講義において実施するレポート課題(600文字程度)の提出状況
期末定期試験の得点。教科書に記載されている問題を出題します。
上記のと を踏まえて最終評価を確定します。

履修にあたっての注意・助言他

簿記会計の基本事項をできる限り平易な表現で繰り返し説明します。参考書として示した書籍の内容に多少の補足説明をつけた内容を講義で説明します。講義内容が理解できれば、教科書に記載されているビジネス会計検定試験の過去問題を容易に解くことができるはずですが、ただし、講義時間中に過去問の解説に特化した講義を行いません。

教科書

.ビジネス会計検定試験・公式過去問題集3級.	大阪商工会議所	中央経済社	1600	9787502152719

参考図書

.ビジネス会計検定試験公式テキスト3級.	大阪商工会議所	中央経済社	1760	9784502301810

その他

ありません

授業計画

第1回 講義概要と学習事項の説明
第2-3回 第1章 「財務諸表」とは
第4-5回 第2章 貸借対照表
第6-7回 第3章 損益計算書
第8-9回 第4章 キャッシュ・フロー計算書
第10-11回 第5章 財務諸表分析
第12-13回 第6章 総合問題
第14-15回 まとめ

* 講義の進み具合によって講義内容が前後する可能性があります。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア:PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ:ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ:グループワーク
<input type="radio"/> オ:プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ:実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ:その他(ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の講義内容に基づいて教科書に記載されている過去問題を解き、不足している知識を補うという当たり前の努力をコツコツと続けることが必要です。講義内容をどの程度理解できているのかを各種問題(専門用語を問う空所補充)、正誤判断を問う問題、または計算問題を解くことによって確かめることができます。学習事項の理解度やその定着度が学習者によって異なるので、勉強時間をどの程度設定すればよいかといった質問に対して全員に当てはまる回答を提示できません。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析することができるようになります。企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識をもとに企業が直面する問題や企業の強みを発見し、経営戦略の構築に貢献することができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

独学です。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

ありません